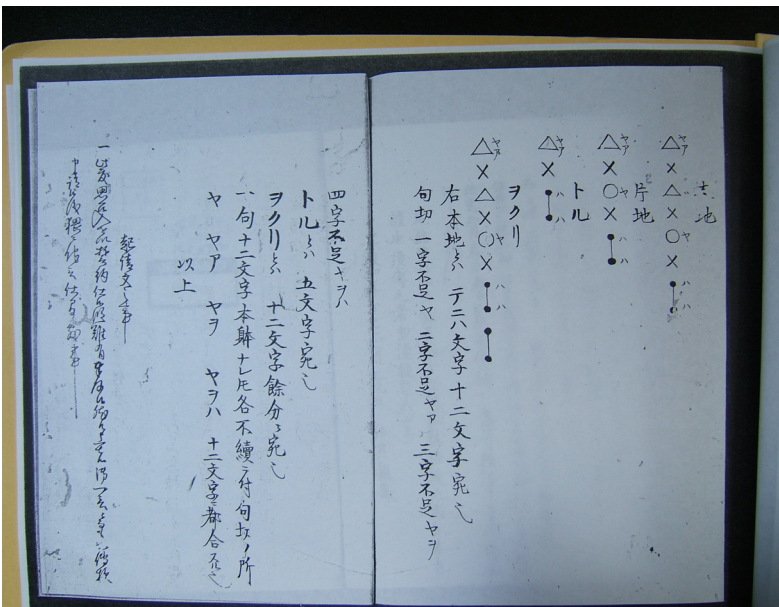
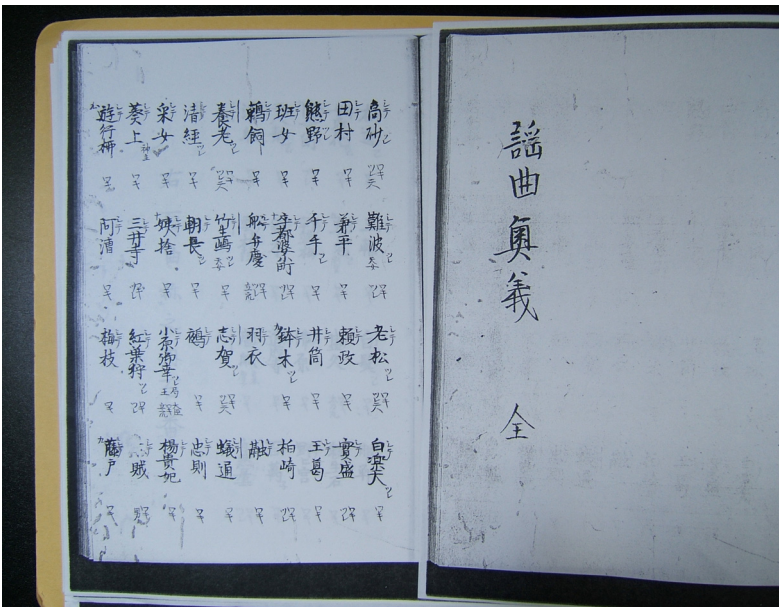


著者不明 『謡曲奥義 全』

「右謡曲内外目録並拍子秘伝或就師授之因納右起証也須伝之者勿漫授於人矣 安政四年丁巳正月上元日源其親識」との識語から、本書を構成する「謡曲目録」にくわえ、「拍子当たり」の図解や「本地」「片地」等の用語、およびそれらの意味などが秘すべき知識であったことが理解できよう。巻末には「起請文」の写しも収められる。



標題 内題…

標題紙…謡曲奥義 全

奥附…

その他…謡曲内外目録并拍子秘伝(巻末)

著者 奥附…

その他の場所…源其親(巻末)

出版 版次…

出版地…

出版社…

出版年…

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…写本 現物複写の別…複写

備考 安政四(一八五七)年源其親写(巻末)。

関西大学図書館所蔵。『節謡示蒙 軒迺玉水』『謡曲 訓蒙拍子図解』と合綴。